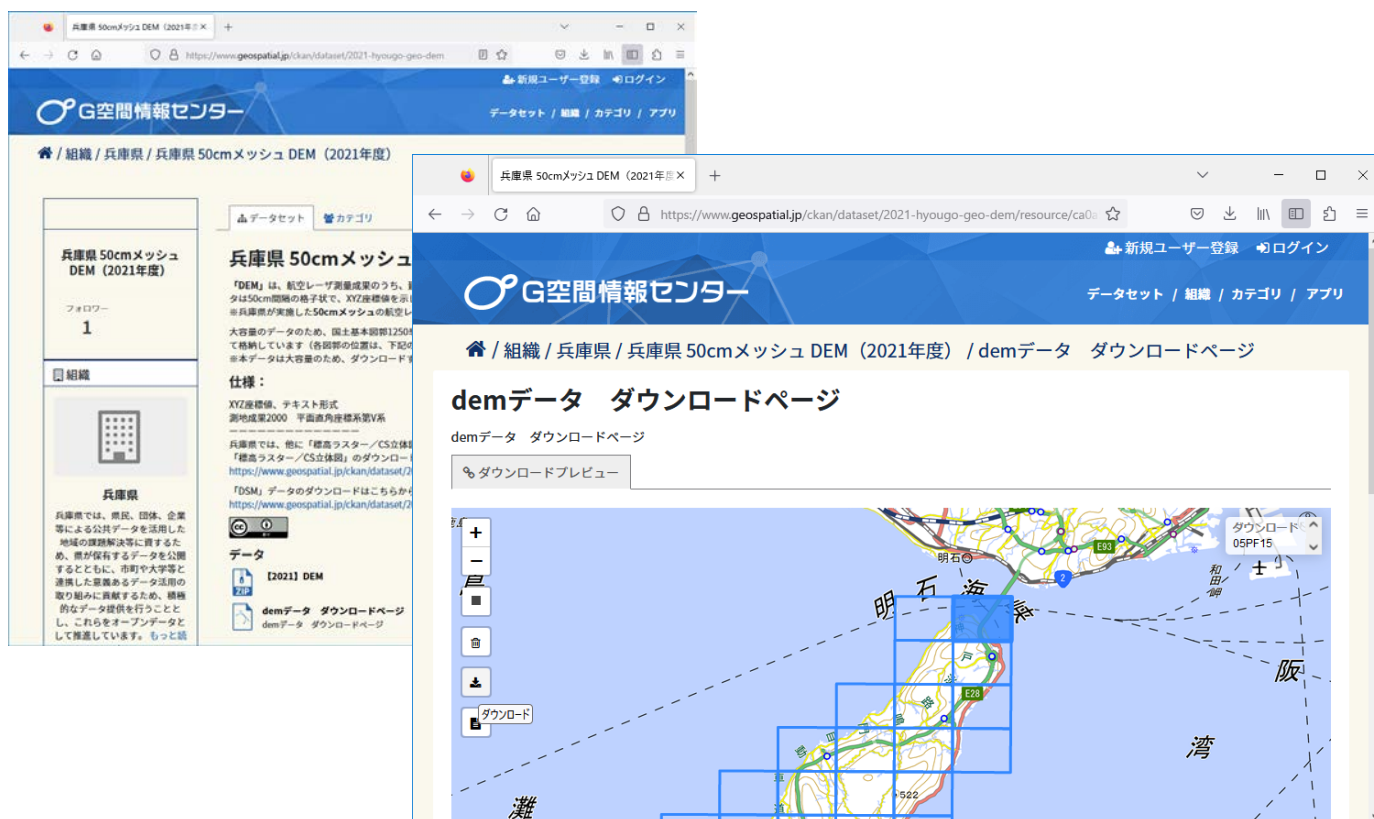


【DW (TNTmips)】 XYZ テキストの DEM をインポートする

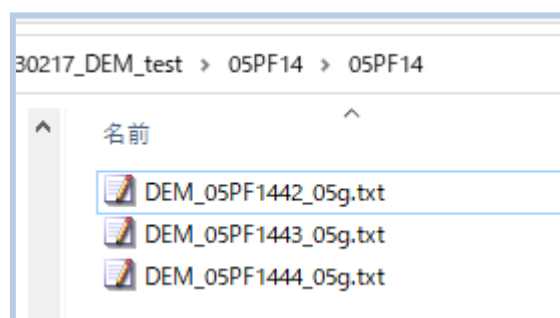
2023.2.22 OpenGIS

サンプルはこちらのデータを使用しました。 <https://www.geospatial.jp/ckan/dataset/2021-hyogo-geo-dem>



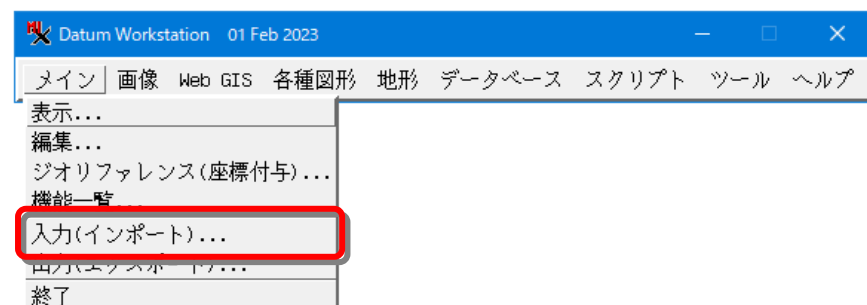
ダウンロードした zip ファイルを解凍しておきます。

テキストファイルの内容を確認します。XYZ で、区切りはスペースです。

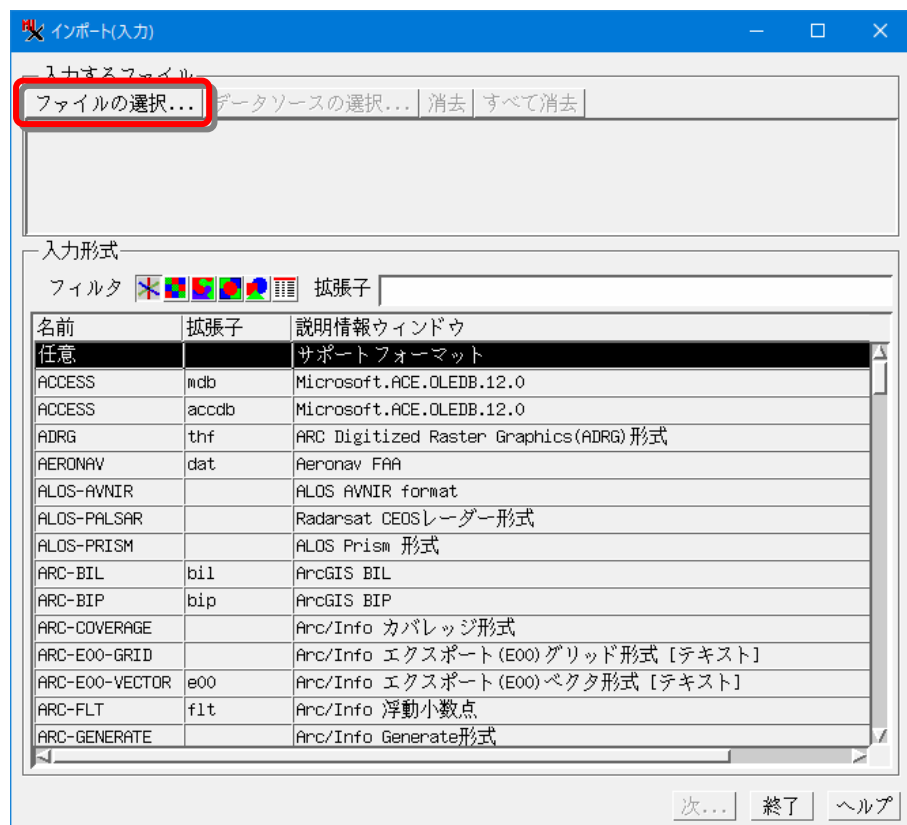


```
1 59194.750 -155249.750 0.34↓
2 59195.250 -155249.750 0.35↓
3 59195.750 -155249.750 0.37↓
4 59196.250 -155249.750 0.38↓
5 59196.750 -155249.750 0.38↓
6 59197.250 -155249.750 0.37↓
7 59197.750 -155249.750 0.36↓
```

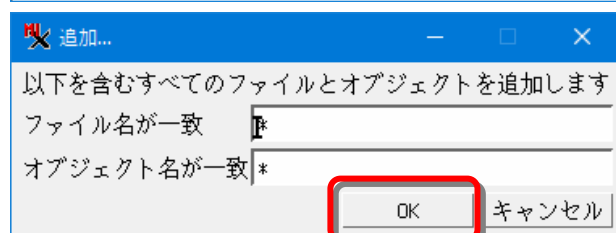
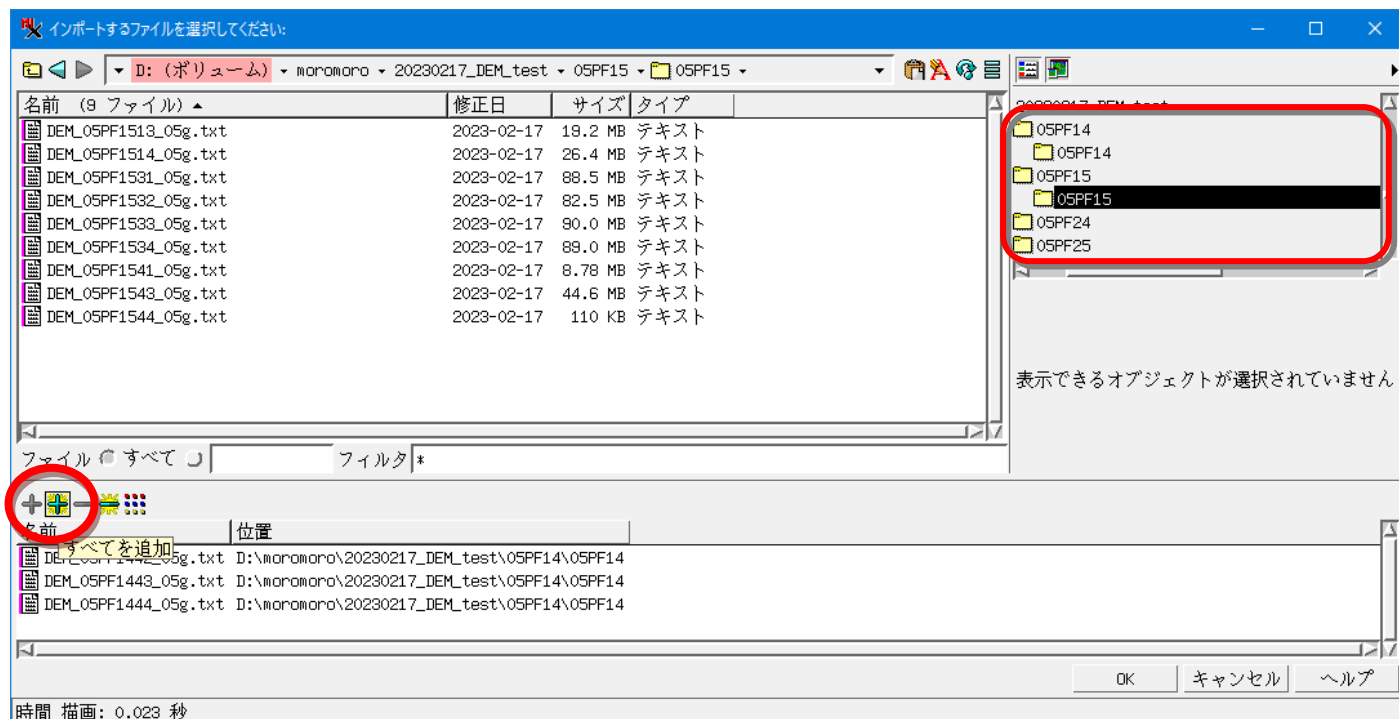
RVC ファイルへインポート処理をします。



[ファイルの選択]で入力テキストファイルを選択します。複数ファイルを指定できます。



ファイルのあるフォルダを選択して[全てを追加]ボタンをクリック、ダイアログで[OK]、選択されたファイルが下段に追加されます。操作を繰り返して必要なファイル全てを指定します。



Import from TEXT-XYZ

ピラミッド: 平均

圧縮 非圧縮

ライン方向のセルサイズ: 0.0000

カラム方向のセルサイズ: 0.0000

セルタイプ 32-ビット浮動小数点

☐ ノル値

ファイルヘッダ行 0

区切り記号

格納の順番: X Y Z

X Field 2 Y Field 3 Z Field 4

☐ Treat X/Y coordinates as image column/row

参照系... JGD2000 / Japan-19 zone V

入力(インポート)... ジョブキュー... ジョブの保存... キャンセル

ここでは半角スペースを入力します

正確な参照系を指定してください

[インポート]を実行

インポート先のラスタオブジェクト(複数)を選択してください:

D: (ボリューム) ... 20230217_DEM_test

名前 (9 フォルダ)	修正日	サイズ	タイプ
05PF14			ファイルフ:
05PF15			ファイルフ:
05PF24			ファイルフ:
05PF25			ファイルフ:
05PF33			ファイルフ:
05PF34			ファイルフ:
05PF35			ファイルフ:
DEM			ファイルフ:
ZIP			ファイルフ:

表示できるオブジェクトが選択されていません

選択されました

オブジェクト	名前	説明情報ウィンドウ	位置
DEM_05PF1442_05g	[スキップ - クリックして割り当て]		
DEM_05PF1443_05g	[スキップ - クリックして割り当て]		
DEM_05PF1444_05g	[スキップ - クリックして割り当て]		
DEM_05PF1513_05g	[スキップ - クリックして割り当て]		
DEM_05PF1514_05g	[スキップ - クリックして割り当て]		

新規フォルダ...

新規ファイル名 dem_away.tif

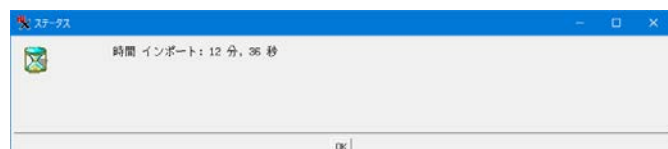
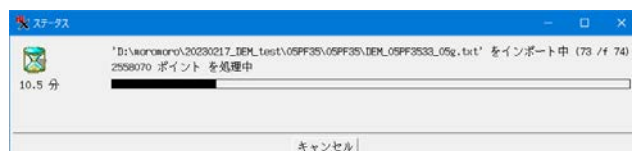
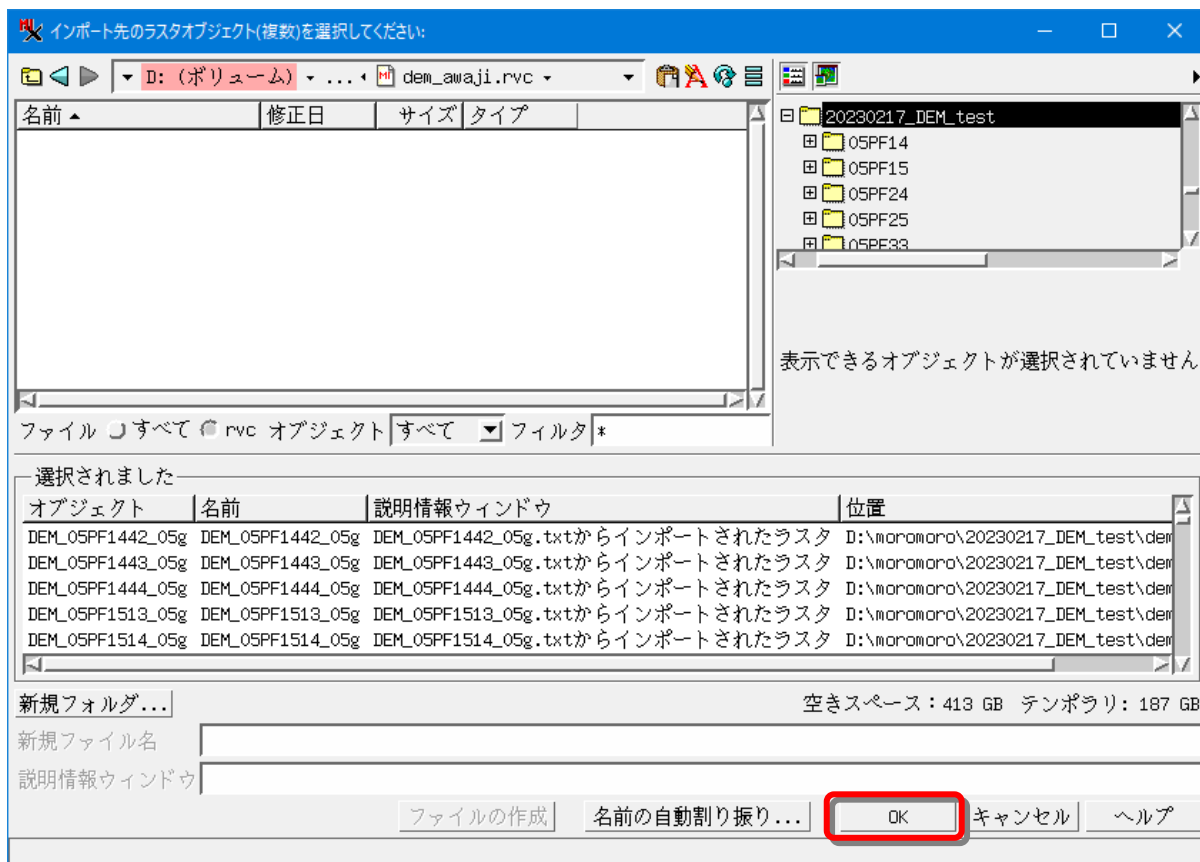
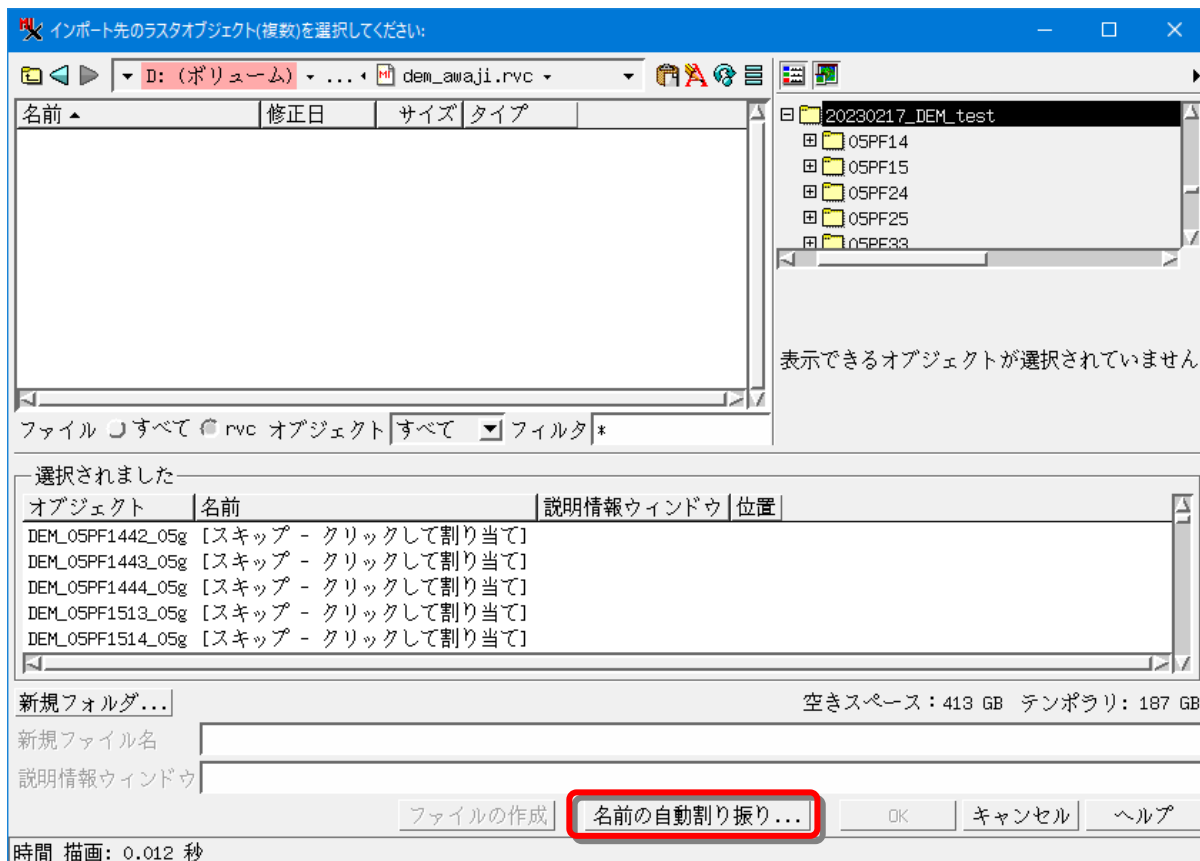
説明情報ウィンドウ

ファイルの作成 名前の自動割り振り... OK キャンセル ヘルプ

時間 描画: 0.030 秒

空きスペース: 413 GB テンポラリ: 187 GB

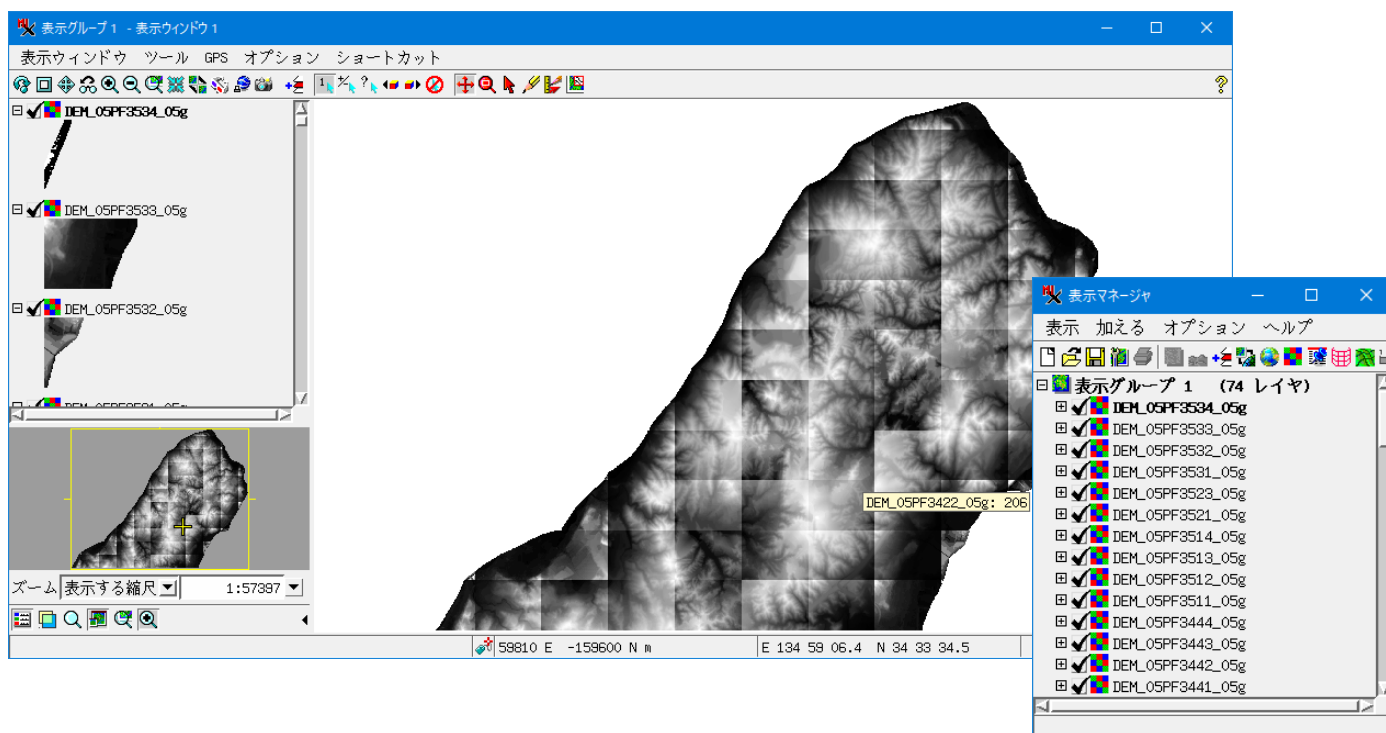
新規ファイル名を入力し、[ファイルの作成]>[名前の自動割り振り]>[OK] でインポート処理が開始します。



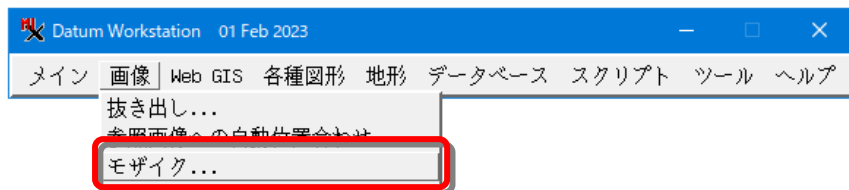
(異なるフォーマットでの指定例) csv ファイルで先頭に番号が入り、2列目から XYZ の値が並ぶテキストファイルの例

```
1 1,-53029.50,94062.50,438.70,0↓
2 2,-53028.50,94062.50,439.30,1↓
3 3,-53027.50,94062.50,439.50,1↓
4 4,-53026.50,94062.50,439.80,1↓
5 5,-53025.50,94062.50,440.80,1↓
6 6,-53024.50,94062.50,441.00,0↓
7 7,-53023.50,94062.50,441.30,0↓
```

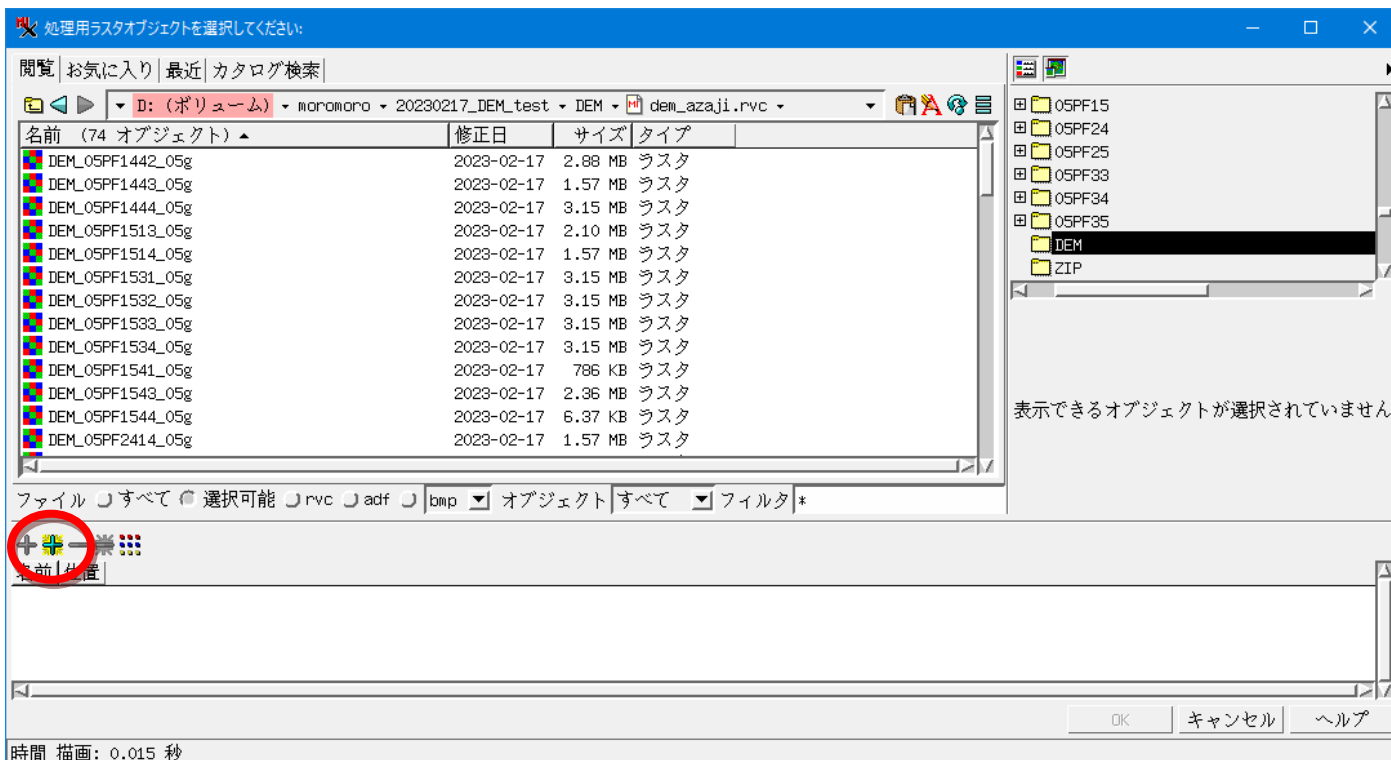
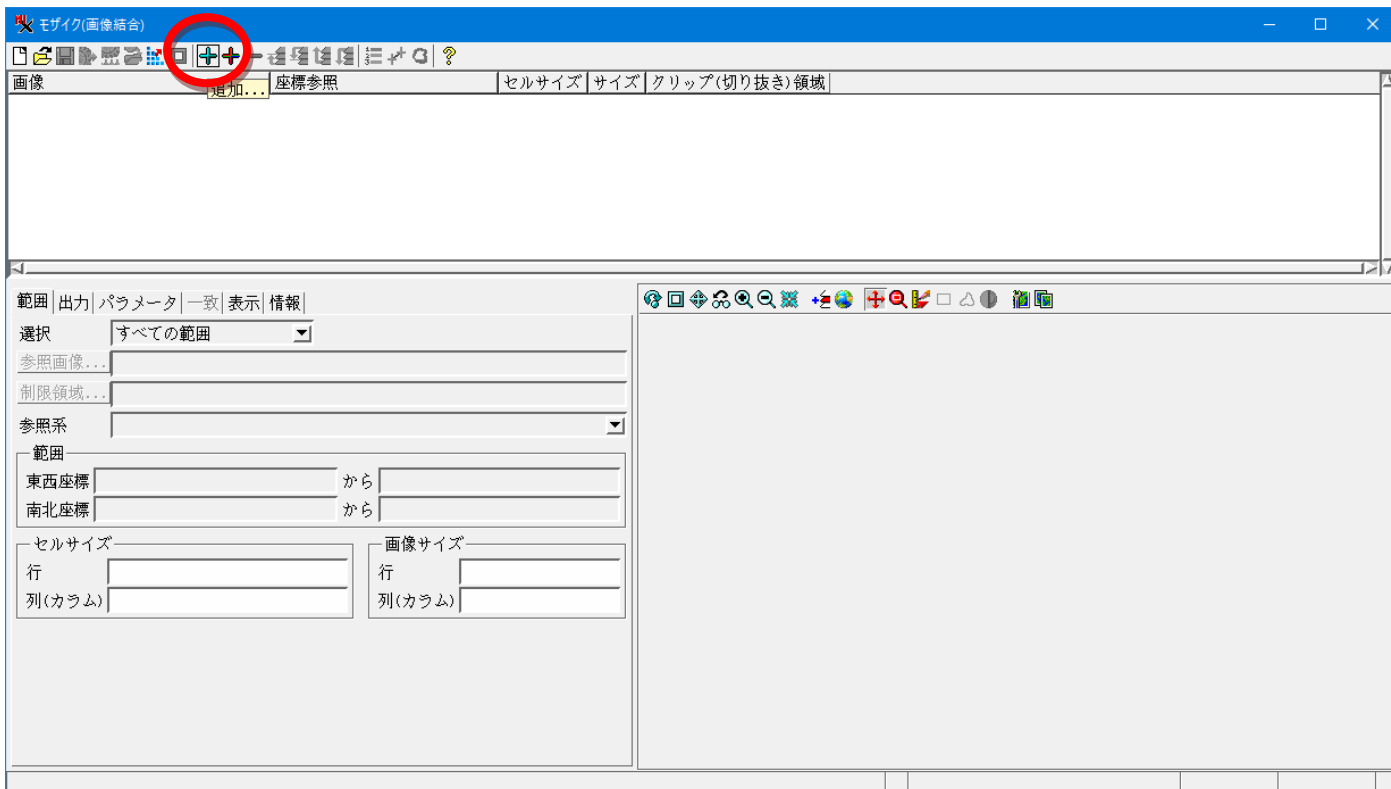
[インポート]を実行後、RVC ファイルを表示。インポートした DEM ファイルは個別のオブジェクトになっています。



複数の DEM オブジェクトを1つにまとめるモザイク処理の例

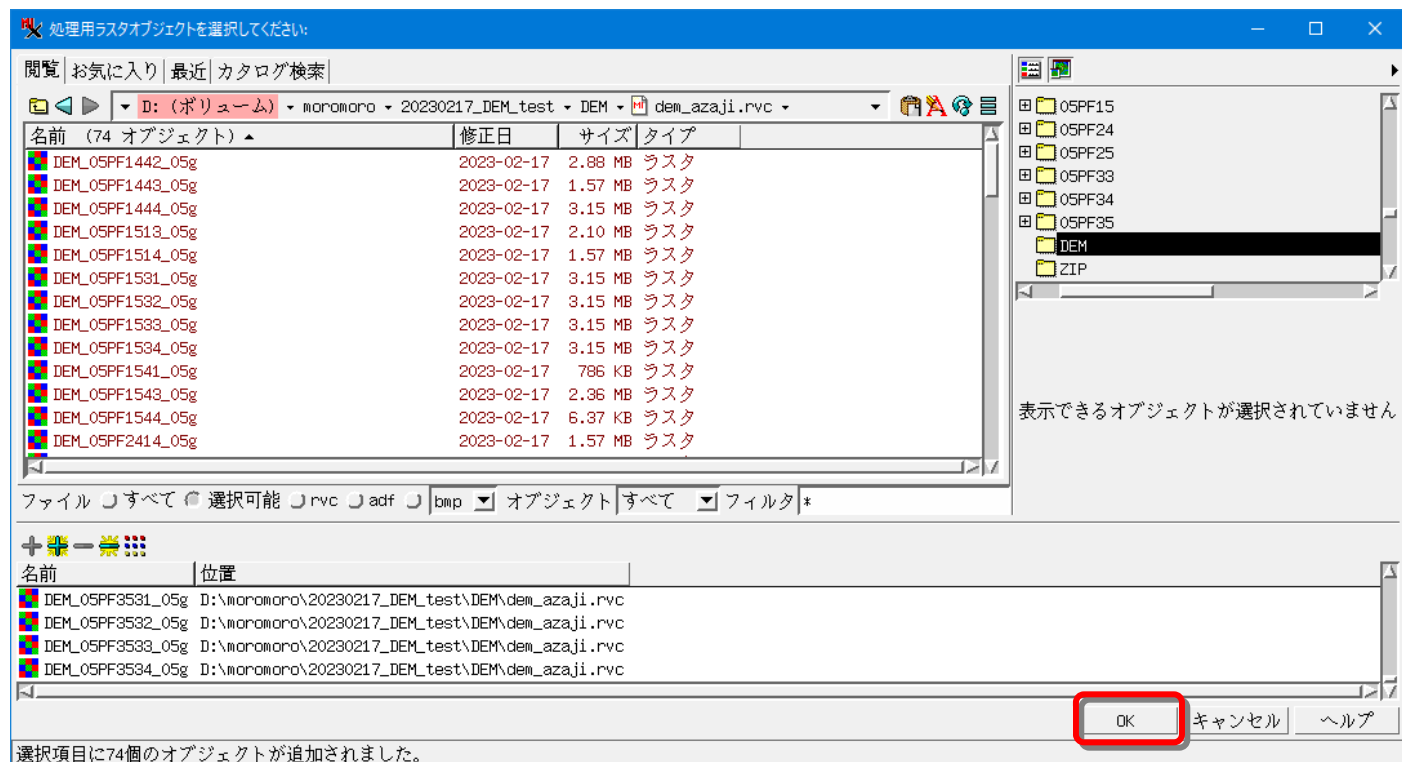


[追加]からファイルを選択。インポートした RVC ファイルの中の DEM オブジェクトを指定します。

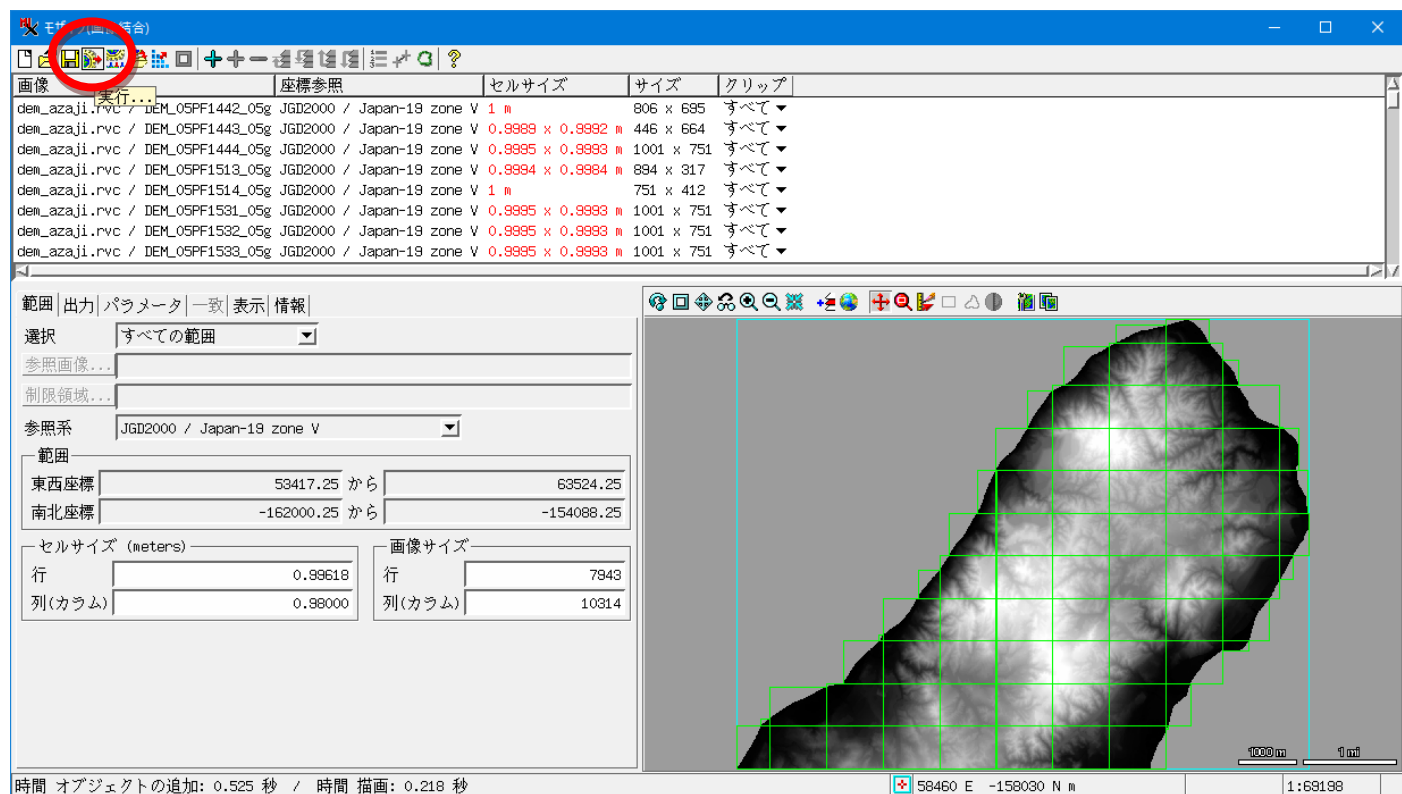


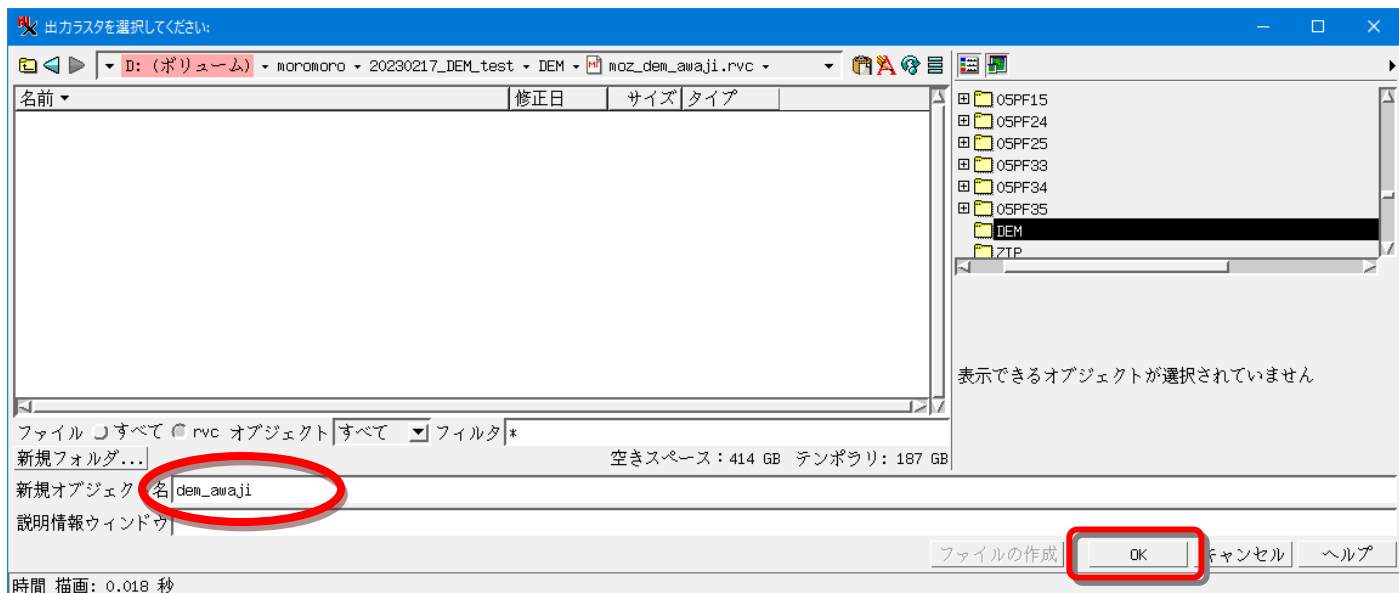
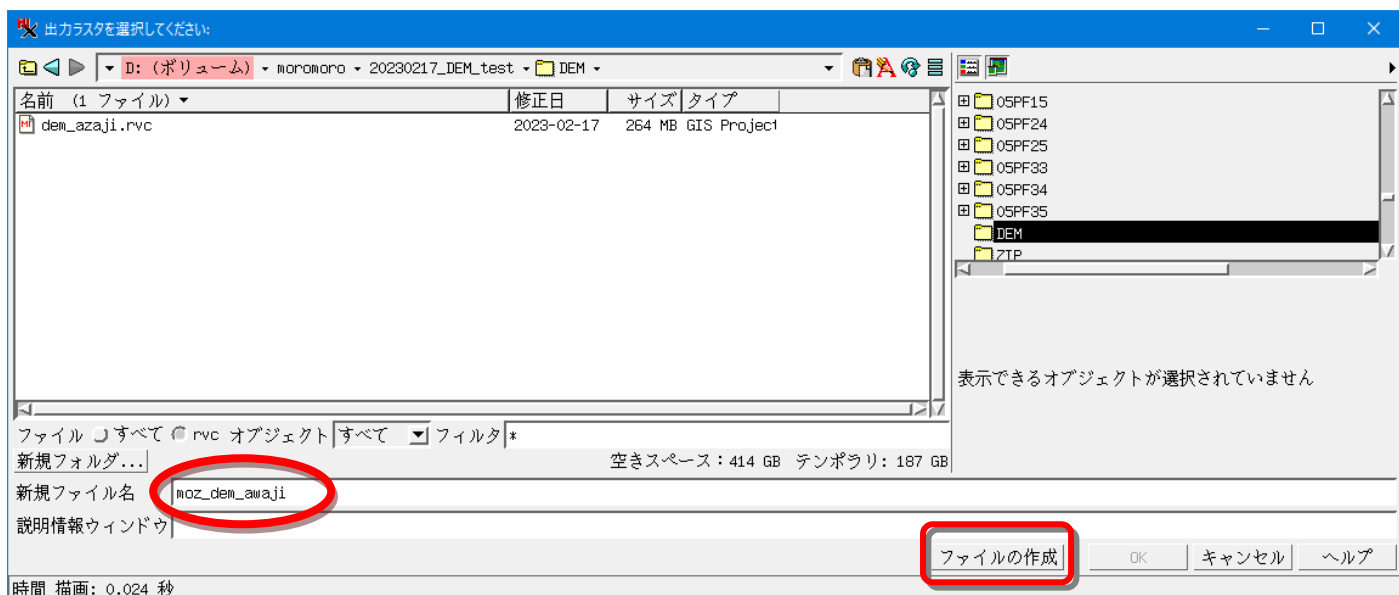
[すべてを追加]でモザイクするファイルを選択すると下段に入ります。

ファイル選択が終われば[OK]

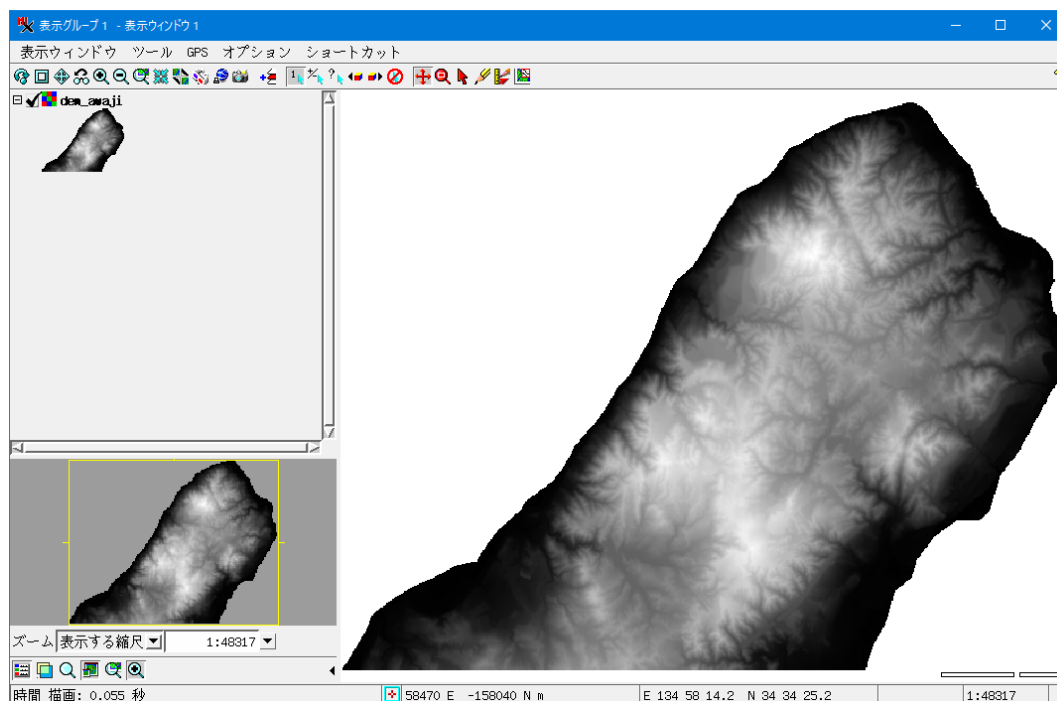


[実行]ボタン > ファイル名、オブジェクト名を指定

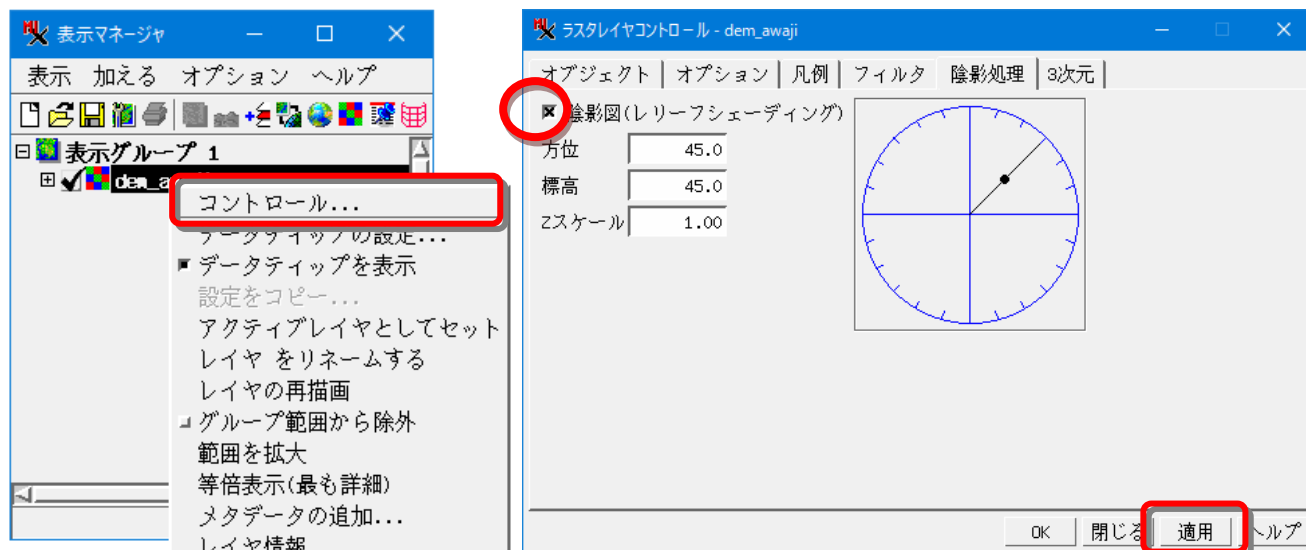




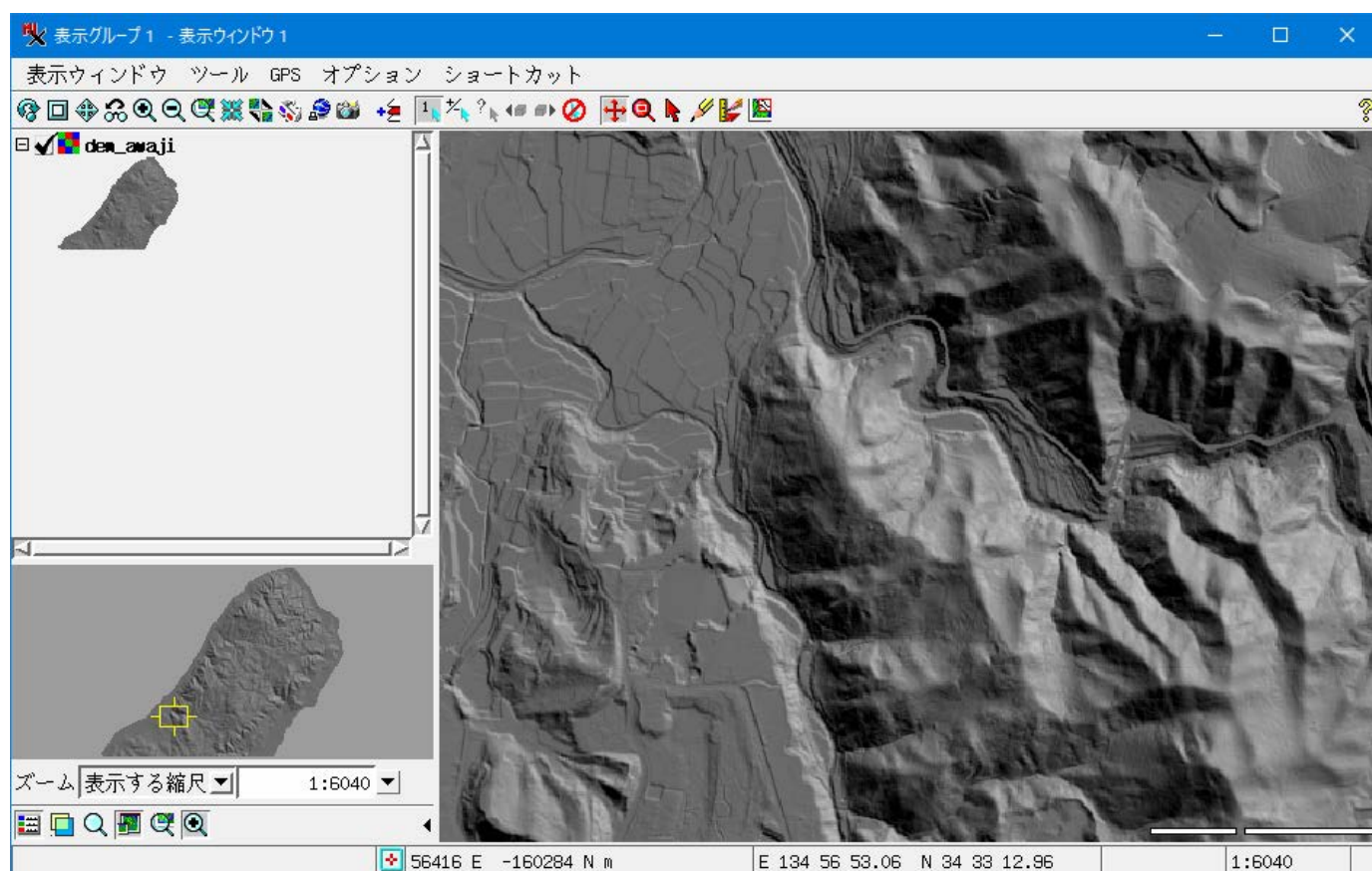
モザイクした DEM を表示



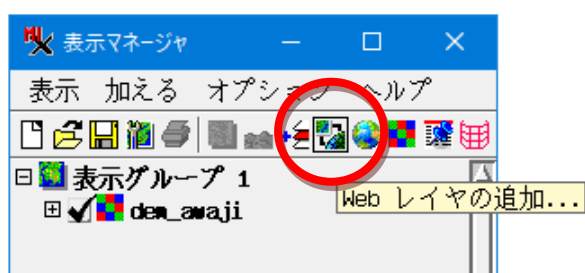
レリーフ表示にするには、オブジェクトの右クリックメニューの「コントロール」で陰影図にチェック、[適用]



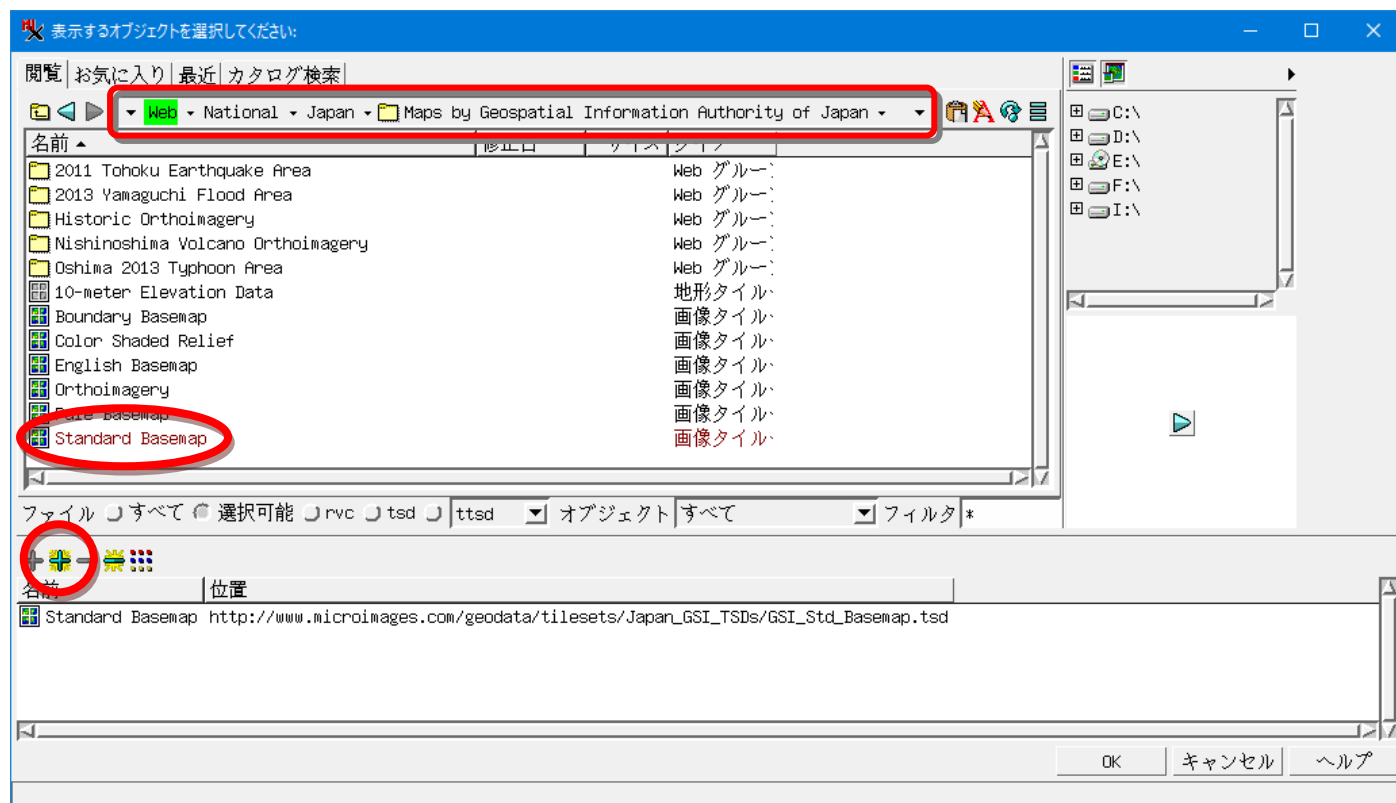
DEM をレリーフ表示



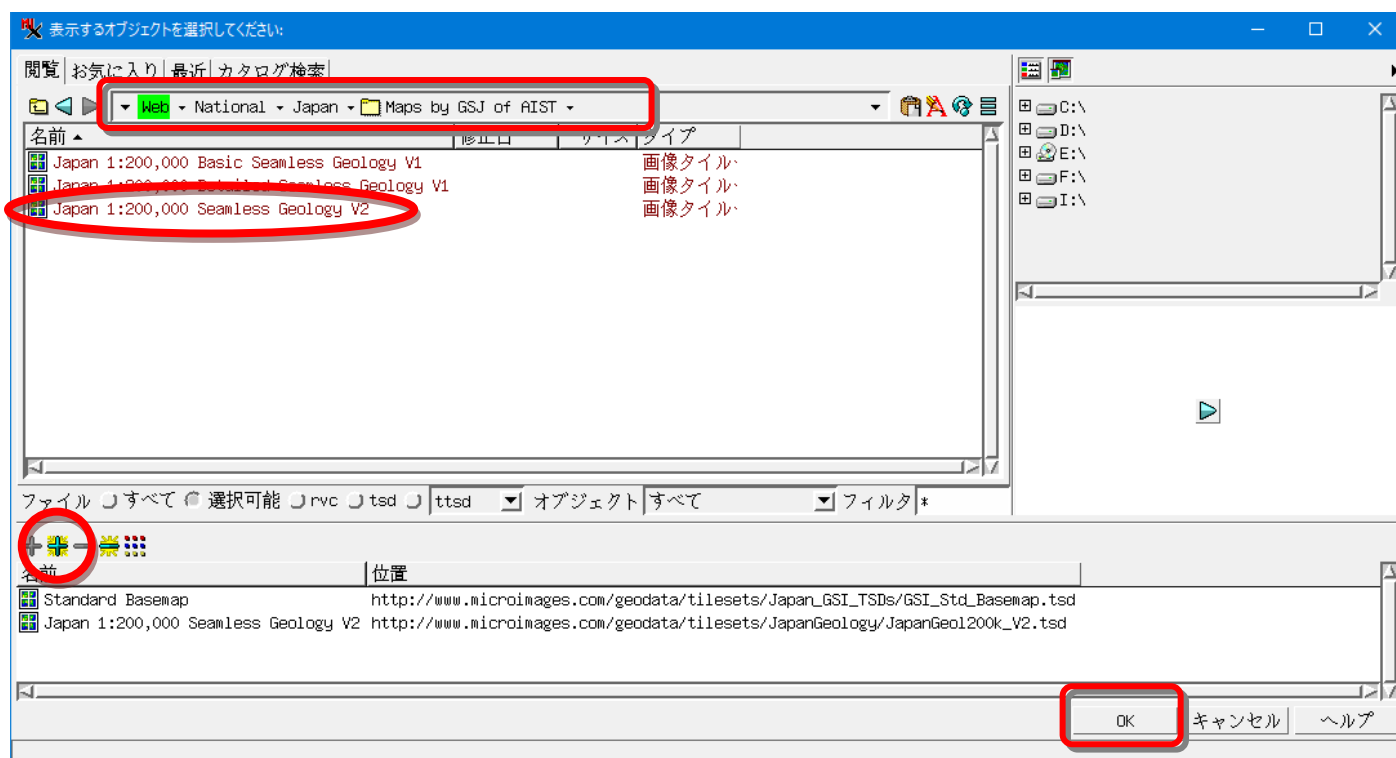
表示に地理院地図を重ねてみます。 [Web レイヤの追加]ボタンから



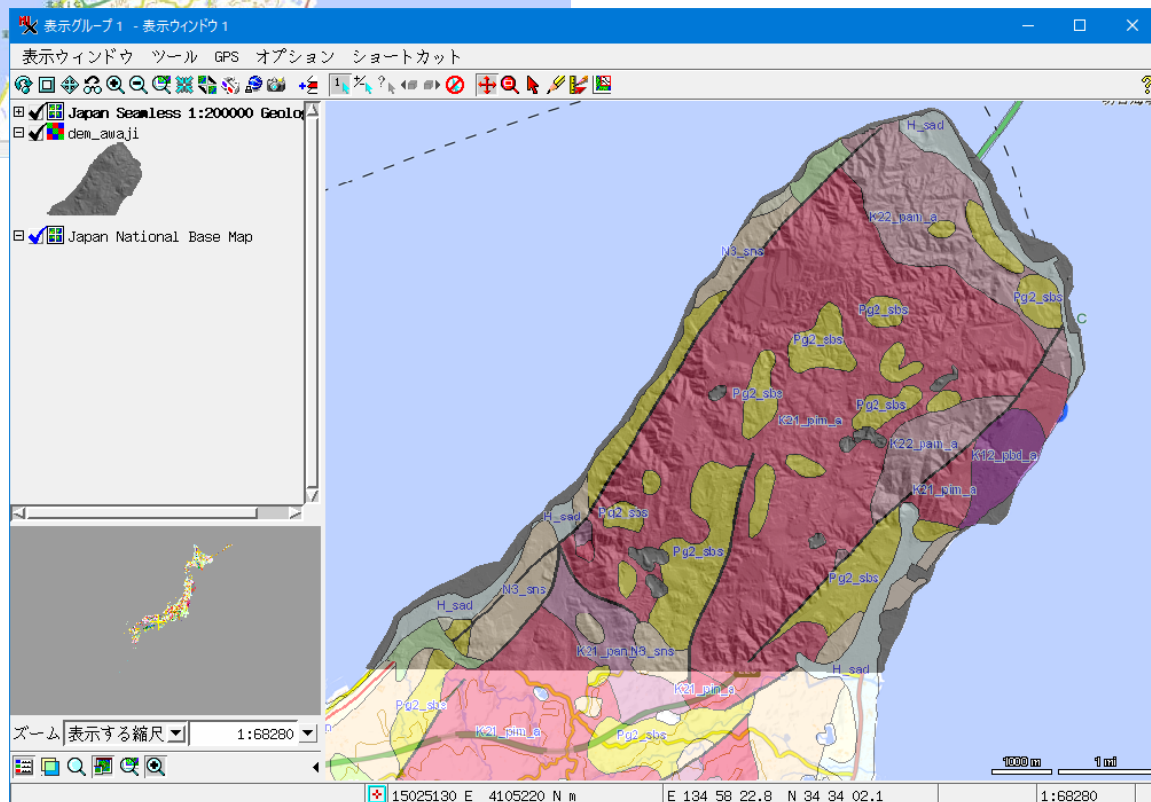
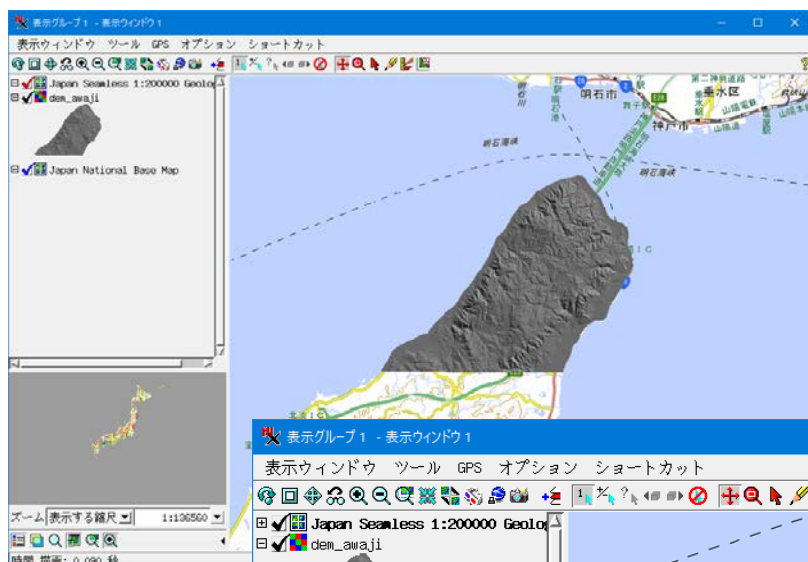
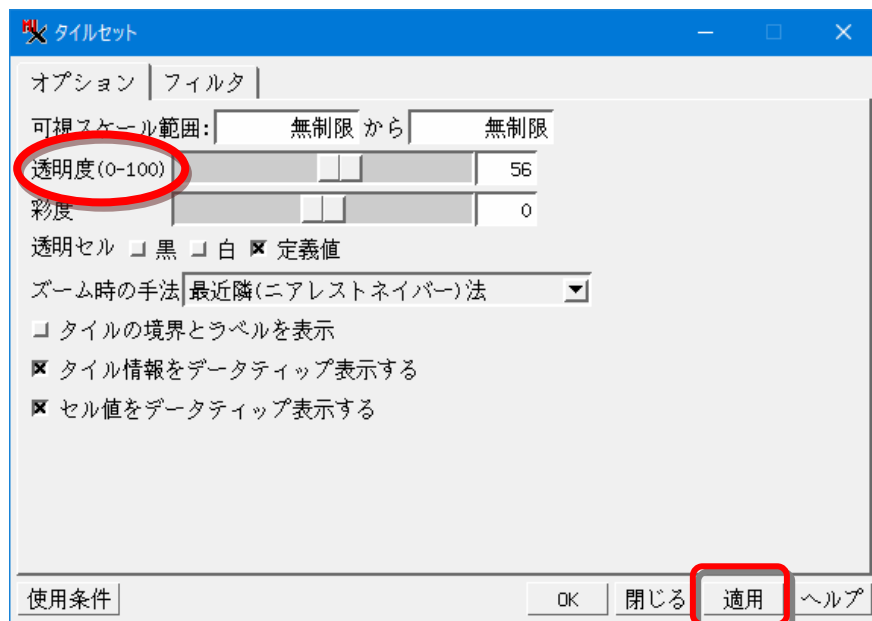
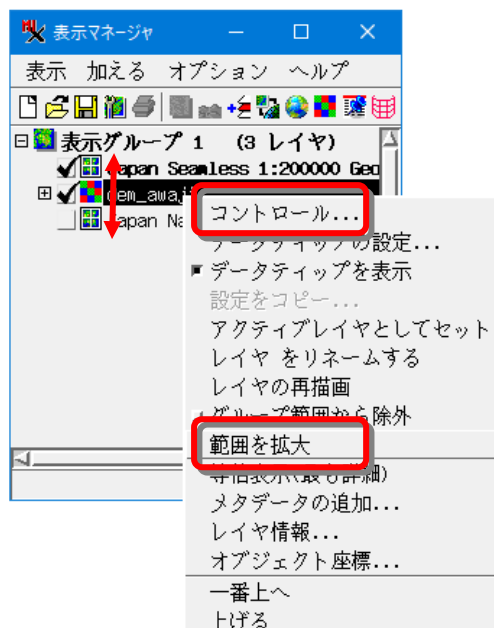
地理院地図の標準地図は下記のパスを指定します。



シームレス地質図を重ねてみます。フォルダを移動して選択し、[OK]で表示



マネージャで、オブジェクトのドラッグ上下でレイヤ重なり順の変更、✓で表示のオンオフ、オブジェクトを選択して右クリックメニューから、「範囲を拡大」でその表示位置へ移動、「コントロール」>オプションタブにてレイヤ透明度の変更ができます。



関連情報:「レーザ測量データのインポート」 https://www.opengis.co.jp/htm/kako_mail/mail_mag_289.htm